

JENESYS Programme

YJT中間報告

オーストラリアSA州 初見絵里花

本報告の流れ

- ▶ 1.SA州とAdelaideの概要
- ▶ 2.勤務校の概要と日本語教育活動
 - Adelaide High School
 - Grange Schools
- ▶ 3.今後取り組みたいと思っていること
- ▶ 4.その他の活動
- ▶ 5.これまでに学んだことと、今後の課題

SA州とAdelaideの概要

- ▶ South Australia
- ▶ 人口：約1,622,700人
- ▶ 州都：Adelaide
- ▶ 名産品：ワイン（バロッサバレー）

- ▶ Adelaide
- ▶ 人口：約1,105,800人
- ▶ Uni SA, University of Adelaide, Finders Universityという3つの大きな大学があり、各地から（留）学生が集まる。

SA州とAdelaideの概要



Adelaide High School

▶ 学校の概要

- ▶ 生徒数: 約1100名 (Yr 8-12)
- ▶ 教師数: 約130名 (サポートスタッフを含む)
- ▶ SA州で最初に設立された伝統のある州立高校。生徒は非常に勉強熱心。シティに立地。
- ▶ 外国語学習に力を入れており、生徒は下記の7言語の中から2言語を選択することができる。その他の科目は数学、体育、ドラマ、コンピュータ、科学、哲学など。

外国語科目: 日本語 / ドイツ語 / フランス語 /
ギリシャ語 / 中国語 / イタリア語 / スペイン語

Adelaide High School

- ▶ 日本語教育体制

- ▶ 4名のノンネイティブ日本語教師

- ▶ 使用教材:

Mirai 1/2 (Yr8,9) Gakkou Seikatsu (Yr10)

Wakatta! (Yr11,12)

その他、各教師が作成した教材やプリントなど

- ▶ 授業活動: 教師や生徒の学年によって様々。基本的に教科書とワークブックに沿った授業だが、生徒は評価の対象となる様々なsummative taskをそれぞれが提出しなければならない。その他、ビデオ鑑賞やゲーム、会話練習など。

Adelaide High School

- ▶ これまでの私の活動
- ▶ 日本の写真を使った自己紹介
- ▶ J-POPのYouTube Clip鑑賞→歌詞の聞き取りタスク
(BUMP OF CHICKEN/EXILE)
- ▶ 書道体験(Yr8/9)
- ▶ Tutoring Senior Students
(Yr12の生徒との会話練習)
- ▶ フラッシュカードの作成
(漢字、会話トピック、文法)
- ▶ フラッシュカードを使った授業の提案とサポート

Grange Schools

▶ 学校の概要

- ▶ Junior Primary + Primary = Grange Schools
- ▶ 児童数：約650名（合計）
- ▶ 教師数：約40名（サポートスタッフを含む）
- ▶ シティ中心地からバスで約30分ほどのGrange Beach近郊にある小学校。
- ▶ ヨーロッパ系の児童が多数を占めるが、少数ながらアジア系、アフリカ系の児童も在籍している。
- ▶ 授業科目は日本語の他に音楽、体育、算数、コンピュータ、家庭科など。Junior Primaryの児童は一日のおよそ半分を所属クラスで過ごす。

Grange Schools

▶ 日本語教育体制

- ▶ ノンネイティブの日本語教師がJunior Primary, Primaryともに1名ずつ勤務している。外国語科目は日本語のみ。
- ▶ 私が勤務するJunior Primaryの日本語の授業は月、火、水の週3日のみ(Junior Primaryの日本語教師が週3日勤務のため)。
- ▶ 授業の目的は、Termごとに決められたテーマ(乗り物、スポーツなど)に沿った単語と短い会話文の習得。テーマにはいくつかのバラエティがあり、タームごとにその中からテーマが選ばれる(Junior Primary, Primary共通)。
- ▶ 使用教材: テーマに沿って教師が作成したタスクシート(文字のトレーシングとぬり絵が主) / IWB / フラッシュカード / 日本(語)の絵本 / 折り紙 / パズルなど。

Grange Schools

- ▶ これまでの私の活動
- ▶ 児童たちのワークシートのサポート
- ▶ 日本語の絵本朗読
- ▶ 書道体験
- ▶ ミニゲーム: 福笑い、あやとり、おりがみなど
- ▶ 日本の写真紹介

今後取り組みたいと思っていること

- ▶ Adelaide High School
- ▶ ノンネイティブ教師との話し合いの場をさらに多く持てるようにする。
- ▶ 作成したフラッシュカード等の授業での活用方法を考える。
→新しい学習活動の提案と実施
- ▶ Grange Primary School
- ▶ ノンネイティブ教師との話し合いの場をさらに多く持てるようにする。
- ▶ 児童たちが日本語を使えることが嬉しい／楽しいと思えるような何かを考える。

その他の活動

- ▶ SA日本語教師会のカンファレンスに参加
- ▶ →教授法、授業アイディアの共有。この機会をきっかけに自校の先生方と話し合うことができた。

- ▶ SAETL(South Australia Exchange Teacher's League)→他の日本語アシスタントとの出会い

- ▶ 一人暮らしと友人の存在→休日を楽しく！

これまでに学んだことと、今後の課題

- ▶ 日本語アシスタントとして...

何事も自分から提案しないと何も変えられない！

意思表示／情熱(！)

- ▶ 第二言語の学習者&海外生活者として...

言いたいことが相手に伝わったときの喜び

自分の経験を授業に生かすことができるか？

- ▶ 授業の観察者として...

「教師」として、まだまだ学ぶべきことはたくさんある！

今後私が進むべき道は...